

① 一般社団法人 インターネット広告推進協議会

1. 主な取組

- ・ 広告掲載基準ガイドラインの策定
- ・ 講習会の実施
- ・ メール、ウェブサイトでの情報提供、注意喚起

2. 広告掲載基準ガイドラインの策定

協議会では1999年の設立当初から自主基準として「インターネット広告倫理綱領及び掲載基準ガイドライン」を策定してきたが、新しい会員が非常に多くなったことを受けて、2012年にその内容をより分かりやすいものへと大きく改定した。

新しいガイドラインは、インターネット広告の健全な発展のため、会員企業や関係者の知見を集約して作成され、広告掲載を行う会員事業者の実務担当者が広告の掲載可否を判断する際の論拠を示すものとなっている。

会員の事業者には、このガイドラインを基に自社の形態に合わせた基準を作り、広告の適法性、適正性を審査するように促している。

ガイドラインは、適切な広告審査を行うことによる消費者保護を目的とすると同時に、媒体価値の維持も目的としている。

また、業界の特徴として新しい広告の形態が生まれやすいため、新しい広告手法や新しい端末の特性に対する配慮も会員に対して呼びかけている。



3. 取組の効果等

インターネット広告業界の特徴として、近年では新規参入者が多く、その中には中小事業者や海外に本社を置く事業者も多にいる。そこで協議会の自主基準としてのガイドラインをより分かりやすいものにしたことでさらに実用的になり、会員の実務担当者が実際に広告審査をする際に参考にできるようになっている。

また、ガイドラインをウェブサイトで公開し、会員内外に広く普及啓発することで、業界全体として広告適正化に対する関心が保たれている。

(団体の概要)

インターネット広告活動の環境整備、改善、向上により広告主と消費者からの社会的信頼を得て健全に発展し、その市場拡大していくことを目的としている。

H27年1月現在、会員社179社で、主要なネット広告事業者のほとんどが加盟している。

〈主な事業内容〉

- (1) 広告掲載基準、メディアデータ、エビデンス（広告掲載レポート）等のガイドライン策定
- (2) 調査研究
- (3) 普及啓発

→ 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.jiaa.org/>